

大牟田市立田隈中学校

1 本校のESDの特徴

教師は、生徒の自主性を尊重し、カウンセリングマインドをもって、生徒の自主的活動の中に、生徒指導の3機能（出番・役割・承認）を取り入れ、集団で高め合う力を身につけさせている。教科の授業とESDとの相互関係を図り、外部の人とふれあうことで一層自尊感情を向上させ、やる気を持って活動するようにしている。

そのことにより、3年生のほとんどの生徒は外部講師への受け答えや、地域へ出かけていく様々な活動でも物怖じすることなく活発なコミュニケーションをとることができている。また、それらで得られた情報を普段の生活や自分の将来の人生設計にも生かし、具体的な進路につながっていることが面接指導の受け答えからも明確である。

つまり、3年卒業時に、生徒はESDの精神にもあてはまるように将来社会に貢献し、人々の役に立つような仕事をしたいと思えるように計画を立てている。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

	第1学年	第2学年	第3学年	地域との連携 ・地域の職業人 ・地元企業 ・福祉施設 ・幼稚園 保育園
学年の目標	体験活動をもとにして、人との関わり合いを学び、考え方や生き方を共有する	課題をもって学習に取り組み、学習の成果をまとめて発表する。	自ら課題を設定し、自分のこれからの生き方や3年間を通した学習から社会への参画について考える。	
将来を見つめる (進路学習)	○職業調べ(3学期) ・身近な職業人に聞く	○職場体験(1学期) ・身近な職場での体験活動	○自分の将来について考える(1学期) ○進路学習(1・3学期)	
誰もが幸せな社会とは (人権・福祉学習)	○命の学習(1学期) ○福祉学習(2学期)	○異文化交流<修学旅行京都>(2、3学期)	○福祉学習 保育実習(2学期) ・幼稚園、保育園での体験活動	

3 特徴的な活動事例

<第1学年 福祉学習 車いすバスケット体験>



目標：肢体が不自由な方と交流を深めることで、福祉に積極的に関わろうとする意欲を高めていこう。

内容：桜花台クラブ車いすバスケットチームの出前授業

・車いすバスケット体験 ・講話、福祉DVD視聴

学んだこと：「実際に車いすバスケットを体験することで、足が不自由なことの大変さがわかりました。しかし、それでもとても楽しくクラブチームの方とふれあい共存・共生の大切さを学ぶことができました。」

<第2学年 職場体験>



目標：将来を見つめるきっかけとし、地域の働く人から勤労の意義を学び、社会に貢献する喜びを知る。

内容：市内60カ所の事業所に分かれ、3日間、職業体験に従事する。

学んだこと：「私が体験した仕事では、朝から夕方までお年寄りの方々の面倒を見ながら、一人ひとりとコミュニケーションをとらないといけないのでとても大変でした。けれど、お茶を出したときなどに『ありがとう』と笑顔で言ってくれたときにはとてもうれしくなりました。大変だったけれど、とてもやり甲斐のある仕事でした。」

<第3学年 職業ガイダンス>



調理・製菓（大牟田高校）



公務員・警察（麻生専門学校）

目標：職業ガイダンスを受けることで、いろんな職種とそのための道のりを知り、具体的な自分の進路を見つけるきっかけをもたせる。

内容：11分野の職種について9校の高校とビジネススクールの講師から2時間枠で4種類の職種講義を受ける。

学んだこと：「職業とはこんなにたくさんあり、職業につくまでの具体的なことが分かり、どんな勉強をすれば良いのかがすごく分かりました。講師の先生方がわかりやすく熱意を持って授業をさせていただいて、楽しかったし、将来への新たな希望を見いだすことができました。この企画をしていただきとてもよかったです。」

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・1年生の福祉学習では、「車いすバスケット体験」を本年度新たに導入した。パラオリンピックがすべて放送されるようになり、アスリートとして立派に活躍している姿を見ることができ、プラスのイメージでの福祉学習は、共生・共存の精神にのっとったインクルーシブ教育を進めることができた。
- ・3年生の進路学習で、「職業ガイダンス」を本年度新たに導入したことにより、職業ガイダンスでは、目先の高校の進路にとらわれることなく、将来の職業に視点をおくことで、生徒たちが知らない職種や専門の知識を学ばせるとともに、生徒の意欲向上に役立たせることができ、大きな成果を上げることができた。

○課題

- ・成果をあげた取組を次年度に引き継ぐような計画を立てる。